

PS1800

メタルプレトリートメントワイプ



1 / 2



製品概要

特別な酸性の化学的性質に基づいた PS1800 プレトリートメントワイプは直ぐに使用でき、金属の前処理工程を非常に速く、容易にします。

ワイプはその後の塗装プロセスにおいて付着性と腐食性を提供します。

ウルトラパフォーマンスシステムに使用する 金属面の前処理用ワイプ

製品特性

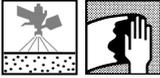
- 01 ウルトラパフォーマンスシステムと組み合わせた金属表面の前処理剤
- 02 すばやく簡単に拭き取り作業ができます。
- 03 優れた付着性と腐食性を提供します。
- 04 混合製品のようなポットライフ、スプレーガン洗浄、オーバースプレーがなく扱いやすい。
- 05 1枚のワイプで約 2 m²処理が可能で経済的。
- 06 標準的な酸プライマーと比較しフラッシュオフが短縮できます。
- 07 クロムフリーで非常に低い VOC 含有量(1.5%未満)で使い捨てが容易。

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

PS1800

メタルプレトリートメントワイブ

2 / 2

製品の使用について	
	作業中は呼吸器系、皮膚および眼への炎症を避けるため、適切な防護服やマスク、安全メガネ等の保護具を必ずご使用ください。
	<p>研磨・脱脂クリーニングした鋼板。</p> <p>研磨・脱脂クリーニングした亜鉛メッキ鋼板、アルミニウム板。</p> <p>縦・横クロスに均一に十分塗布し、表面を最低 1 分間湿らせてください。これは化学反応を確実にするために必要です。</p> <p>金属面にのみ使用してください。</p> <p>同じワイブを異なる金属面で使用しないでください。</p>
	混合なし
	ポットライフなし
	<p>PS1800 を前処理剤として使用できる製品には限りがありますのでご注意ください。</p> <p>表面は乾燥してから 15 分以内にオーバーコートする必要があります。</p>
VOC 規制	2004/42/II B (a II) (200) 14: この製品 (製品カテゴリー: II B (a II)) に対する欧州基準値は希釈済み塗料で VOC が最大 200g/L です。希釈済みでこの製品の VOC 含有量は最大 14g/L です。

製品構成	
PS1800	メタルプレトリートメントワイブ

製品の混合	
	混合比率は、クロマウェブの製品混合と TDS を利用できます。

注意事項	
<ul style="list-style-type: none"> PS1800 メタルプレトリートメントワイブは凍結から保護する必要があります。 ワイブが凍結した場合、それらはもとの状態には戻れない損傷で、再び使用することはできません。 使用中は適切な保護具を使用してください。: 防護服、安全メガネに加えて保護手袋が特に重要です。 1K プライマー、ウォッシュプライマー、エポキシプライマーサフェーサー、ポリエステル製品、UV 硬化製品での使用は推奨しません。(PS1800 を前処理剤として使用できる製品には限りがありますのでご注意ください。) ワイブを取り出した後は直ぐに容器の蓋をシールしてください。 複数回使用する場合、密閉したビニール袋またはプラスチック容器で最長その日の間は保管できます。 使用済みワイブは元の容器に戻さないでください。 容器の底に液体が蓄積する場合は、容器を水平に転がして液体を再びワイブに吸収させてください。 乾いたワイブは、使用できません。廃棄するか、再度湿らす必要があります。 水系の PS1800 メタルプレトリートメントワイブはクロムフリーです。 1 枚で 2m² 迄使用できます。 	

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

[EN PS1800-10]14.12.2016-JP180112